

成果 & 振り返り

清瀬市コース

危機管理意識が低いと思われた中で、避難所運営に関わっている人、関わろうとしている人、関わる可能性がある人へ講座参加を呼びかけました。各地域に防災に関心がある人がいて、民生委員、避難所運営協議会、PTA 役員等、特に多くの女性の参加がありました。各回のグループワークを通して、顔の見える関係づくりができたことは成果です。

「トイレ衛生問題」は特に関心度が高く、参加のきっかけに一役買ったと思われます。誰もが熱心に聞き入り、緊急時のトイレの工夫をグループで実験したり、様々な災害用トイレに実際に触れることもできました。「避難所運営体験ゲーム」では、関係性ができた中で、けがや病氣、寝たきり、高齢者、車いす、外国人、DV 被害者など、多様な人を想定して避難所運営をグループごとに考えたことで、連帯感を深め、リーダーシップを発揮する人も現れ、今後に期待できる講座となりました。現在各地域で立ち上げたり、立ちあげようとしている避難所運営協議会にも積極的に参加して、今回の講座で学んだ男女共同参画の視点や、多様性配慮の必要性を広めたり、生かす役割を果たしてもらえるように、フォローアップの機会を作っていく予定です。

清瀬市・連続講座の第1回・2回より

地域防災力アップのために…

ファシリテーター 黒須さち子さん

地域の様々な団体とのネットワークで防災キャンプを実施した時の様子の写真がパワーポイントで紹介され、経験のない人が多い中、近隣のまちでの実践に大変興味を持たれたようです。2回目に防災キャンプ写真を張り出すと、多くの方が熱心に見ていました。また、防災初心者とも言える参加者の質問にも丁寧に答えてくださり、ご自身が持ち歩いている防災グッズの紹介もあり、身近な取り組みのモデルとして大変参考になりました。

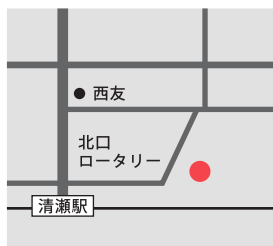
清瀬市男女共同参画センター アイレック

〒204-0021

清瀬市元町 1-2-11

アミュービル4F

TEL 042-495-7002



東久留米市コース

「男女共同参画の必要性が具体的によくわかった」とプレイベントに参加された70代の男性がアンケートに書かれていました。今回の事業の対象を女性限定にするのかを学習会、実行委員会でも検討を重ね、地域防災の現場で女性が参画しやすい土壌を作っていくには、男女共同参画の視点をもった男性の存在が大きいと、男女混合で講座を進めることにしました。講座のグループワークで、地域の防災リーダーの男性の方々と子育て中の女性、聴覚障害のある方が意見交換をされている様子を見て、取り組みが始まっている「避難所運営連絡会」への多様な人々の参画を期待しました。

平日の昼間、地域で活動できる方を対象に開催したプレイベント、連続講座に延べ約150名が参加されました。中でも連続講座に3回参加された20名（女性16名、男性4名）に修了証をお渡しすることができました。防災への関心の高さを知ると同時に、今後の異なる時間帯での事業開催の必要性を感じています。

3市の地域防災の現状はそれぞれで、「避難所運営連絡会」の取り組み方も異なり、女性の参画を進めるにあたって、さまざまなアプローチが必要なことも事業を計画する過程で分かりました。そのような中、連続講座を通じて3市の市民の方々が行き来され、講座の雰囲気、センターの違いを感じ、他市の方と情報交換できて良かったという感想も届いています。

本事業は防災防犯課、社会福祉協議会の担当者と連携し、実践的で効果的なプログラムづくりをめざし、地域の実情、それぞれの現場での課題（「女性の参加がすすまない」「女性防災リーダーとは?」「活躍の場は?」など）、めざす目標の共有など協議を重ねました。異なった視点から地域防災力向上を検討できたことは大きな成果です。今後も連携して、連続講座参加というアクションを起こされた参加者のみなさんの「つながりの場」が広がるよう取り組んでいきたいと考えています。

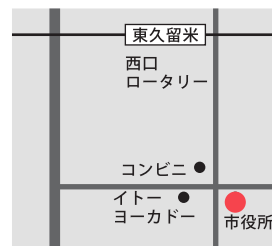
東久留米市男女平等推進センター フィフティ・フィフティ

〒203-0053

東久留米市本町 3-3-1

(東久留米市役所 2階)

TEL 042-472-0061



成果 & 振返り

西東京市コース

連続講座では、毎回30人弱の参加ながら地域で活動されている民生委員や地域団体、NPO法人の方など、多彩な方々にご参加いただきました。グループワーク等でも活発に議論され、主催者の予想以上に想像力豊かで、具体的なアイデアが発表されるなど、そのエネルギーに驚かされました。受講された方々には、本講座の趣旨についてはご理解いただけたのではないかと考えています。学ばれたことを各自の活動の中で生かしていただきたいと思っておりますが、さらに学び、実践していきたいという方々に対して、センターとしてどのようなメニューをご案内できるかが課題です。

西東京市第3次男女平等参画推進計画において、「男女平等参画の視点による防災・まちづくりの推進」は重点課題の一つとなっておりますが、これまで防災担当部署（危機管理室）との連携も十分行っていない状況でした。今回の連続講座を通して、防災担当者とも課題を共有することができたことは、前進だったと思います。

災害時に女性を始め配慮が必要な方々の視点が活かされるようになることが、最終的に目標とする状態です。そのためには女性のリーダーシップが発揮されるような環境が必要であり、また実際にリーダーになりたいという女性が多く現れるような環境も必要だと思います。女性防災リーダーの育成支援を行う一方で、啓発にも力を入れていく必要があります。

防災と男女平等（共同）参画という視点での情報収集に努めると共に、今後、危機管理室をはじめ関係機関とも連携を図りながら、次のステップに進もうとする方々に対して、適切な支援を行えるよう、努めていきたいと思っております。

西東京市男女平等推進センター パリテ

〒202-0005
西東京市住吉町 6-15-6
住吉会館内
TEL 042-439-0075



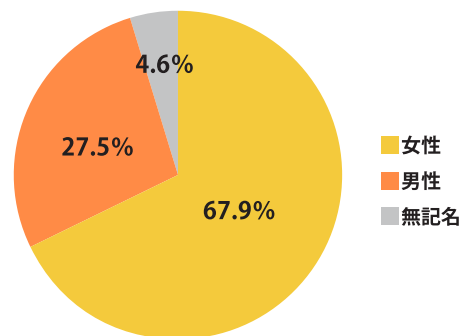
参加者データ

イベント、連続講座(3コース)に延べ419の方が参加されました。

	参加者 (人)	アンケート回答者 (人)
イベント	123	89
清瀬市コース	118	61
東久留米市コース	101	78
西東京市コース	77	59
合計	419	287

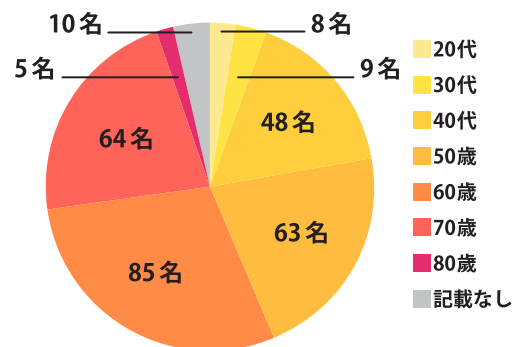
参加者の性別 (アンケート回答者 287人中)

女性 195人 (67.9%)、男性 79人 (27.5%) でした。



参加者の年代 (アンケート回答者 287人中)

20歳代から80歳代までの方が参加されました。



連続講座参加者のお住まい (3回連続講座の合計)

	アンケート回答者 (人)					参加者 (人)
	清瀬市	東久留米市	西東京市	3市以外	記載なし	
清瀬市コース	47	10	1	1	2	61
東久留米市コース	8	59	1	8	2	78
西東京市コース	2	2	51	2	2	59

「わたしの防災コトはじめ」 関連図書・関連資料リスト (2018.1.30 現在)

書名	著者名	出版社	出版年	清瀬	東久留米	西東京
よりよく生き延びるー3・11と男女共同参画センター	公益財団法人せんだい男女共同参画財団/編	新潮社	2017	○	○	○
わたちの避難所	垣谷美雨	新潮社	2017	○	○	○
被災ママに学ぶちいさな防災のアイデア 40	アベナオミ	学研プラス	2017	○	○	
みやぎ3・11「人間の復興」を担う女性たち——戦後史に探る力の源泉	浅野富美枝	生活思想社	2016	○	○	
クロワッサン特別編集 防災 BOOK	-	マガジンハウス	2016	○	○	○
災害支援手帳	荻上チキ	木楽舎	2016		○	○
聞き取り集「40人の女性たちが語る東日本大震災」 ーその後「今」、そして「これから」	特定非営利活動法人イコールネット仙台	特定非営利活動法人イコールネット仙台	2016		○	○
防災かあさん	みんなの防災部	羽鳥書店	2015	○	○	○
災害時に役立つサバイバル術を楽しく学ぶ 『防災ピクニックが子どもを守る!』	MAMA-PLUG 編・著	株式会社 KADOKAWA	2014		○	○
おかあさんと子どものための防災&非常時ごはんブック	草野かおる	ディスカヴァー・トゥエンティワン	2014	○	○	
みんなのための避難所作り 仙台版防災ワークショップ	せんだい男女共同参画財団編	せんだい男女共同参画財団	2014	○	○	
東日本大震災に伴う「震災と女性」に関する調査聞き取り集 「40人の女性たちが語る東日本大震災」	特定非営利活動法人イコールネット仙台	-	2013	○	○	○
東日本大震災に伴う「震災と女性」に関する調査報告集	特定非営利活動法人イコールネット仙台	-	2013		○	○
復興を取り戻す 発信する東北の女たち集	荻原久美子・皆川満寿美・大沢真理編	岩波書店	2013	○	○	
男女共同参画の視点で実践する災害対策 災害とジェンダー<基礎編>	東日本大震災女性支援ネットワーク	東日本大震災女性支援ネットワーク	2013	○	○	○
あなたを守りたい3・11と母子避難	海南友子	子どもの未来社	2013	○	○	
東日本大震災における医療・健康支援	-	女性と健康ネットワーク	2013	○	○	
東日本大震災に伴う「震災と女性」に関する調査 一聞き取り集ー40人の女性たちが語る東日本大震災	特定非営利活動法人イコールネット仙台	特定非営利活動法人イコールネット仙台	2013		○	○
つながる力 東日本大震災としょうがいのある人の暮らし	社会福祉法人つどいの家	フェミックス	2013		○	○
『女たちが動く——東日本大震災と男女共同参画視点の支援』	みやぎの女性支援を記録する会 編著	生活思想社	2012		○	○
災害支援にジェンダーの視点を!こんな支援が欲しかった! 現場に学ぶ、女性と多様なニーズに配慮した災害支援事例集	東日本大震災女性支援ネットワーク	東日本大震災女性支援ネットワーク	2012	○	○	
災害支援に女性の視点を!	竹信 三恵子・赤石 千衣子/編	岩波書店(岩波ブックレット)	2012	○	○	○
3.11 女たちが走った 女性からはじまる復興への道	日本 BPW 連合会/編	ドメス出版	2012	○	○	○
被災ママ812人が作った子連れ防災手帖	つながる. Com/編	メディアファクトリー	2012	○	○	○
復興に女性たちの声を	村田晶子	早稲田大学出版部	2012	○	○	
決定版 巨大地震から子どもを守る50の方法	国崎信江	ブロンズ新社	2012		○	○
a n a n 特別編集 女性のための防災 BOOK	-	マガジンハウス	2011	○	○	
震災トラウマと復興ストレス	宮地尚子	岩波書店	2011	○	○	
子どもの命は守られたのかー東日本大震災と学校防災の教訓	数見隆生	かもがわ出版	2011	○	○	
あなた自身と家族、本当に守れますか? 女性×男性の視点で総合防災力アップ	浅野幸子	日本防火協会	2011		○	○
地震イツモノート	地震イツモプロジェクト	木楽舎	2007	○	○	○
女たちが語る阪神・淡路大震災	ウィメンズネット・こうべ/編	ウィメンズネット・こうべ	2005	○	○	○
災害と女性〜防災・復興に女性の参画を〜	ウィメンズネット・こうべ/編	ウィメンズネット・こうべ	2005	○	○	

*リストにある書籍は、各市のセンターで閲覧、貸出しできます。
他にも関連図書がございますので、各市にお問い合わせください。